

子供時代に於ける境遇と受ける教育

柿谷華王子

「子供の時代に於ける境遇と受ける教育」これは人生一生の幸不幸を定める大問題であり、且つ將來の生活を左右する大きな原因をもつものであります。中には青年期に入つて過去に於ける不運な境遇を悟り、自己の強い意志に依つて奮闘を以つて闇より、明かるみへ立つ人がありますが、斯様な人にしても決して自己からの意志のみでなく、いかに青年期に於て一變すると雖もやはり子供時代と言ふものが原因して、さう動かせるのであります。昔ばなしに其一例として適當な話があります。

或る村の各處に再々盜難が起り、村民が大變に

脅され、警察の大活動となりました、そして幾日目かにやつと犯人が捕はれ、大罪を犯かしたと云ふので死刑を宣告され其犯人が村の目抜き場所の高い臺の上に晒されました。多數の村民は其犯人を見んものと周圍に黒山を築きました。驚いたのは村民です其の犯人は意外にも村の若者の一人で、眼に涙を浮べて立つてゐるのです。集る人は驚きのあまり口々に色々とさゝやき合つてゐました、其の有様を見てゐた若者は何を思つたものか急に係官へ「あの集る人の中に私の母親が參つて居ります。お願ひですから一言母へ言ひ残し度いことがありますからどうぞ面接させて下さい」と

頼みました、同情の持った係官は早速承知して母を若者の許に連れて来りました。集る人にはそれを眺めて一種愛情の感に打たれてみました、ところが若者は母の耳もとに自分の口をあてたかと思ふと、一言も口を利かないで無言の儘母の耳を噛み切り、再び臺の上に立つて大變な昂奮の色の下に自分の犯かした罪の今日までの事情を集る人達に告白しました。

私の父は私の幼い時になくなりまして、貧しい家庭で母の手に育ちました。今更母を恨むのではありませんが、私が小學校へ通ふ頃のことでありました。家が貧しい爲にはしいものも思ふ様に買って貰へない爲に遂ひ友達を持つものに目がうつり、子供ながらに悪いことゝは知りつゝも無斷にて友達のを盗み取りました、そして母に見付かつては一大事と密かに遊んで居りましたが、折悪しく數日後に其盗んだものを母に見付けられまし

た、私は大變なことになった、キツト強く叱りを受けるものと覺悟して居りました。ところが意外にも母はニツコリ笑を浮べて少しも叱責を加へないで無事にこと濟みました、それからと云ふものは悪い事に味を覺へ何の心配も持たないで平氣で悪い事を行ひつゝトウ／＼それが今日までに及ぶ習慣となり皆様にまで大變な御迷惑をおかけしました、もし母が私の最初の悪い行を犯かした時相當の注意をして呉れて居りましたらこんななまでに大罪を犯かさなかつたかと思ひます。私の母はほんとうの愛を持つて私を育て、呉れたのでせうか、私は誠に悲しく思ひます。若しこの皆様の中にお子様をお持ちの方が入らつしやるならば、どうぞお子達の爲に間違つた愛にはしらない様に十分にお御注意をしてあげて下さい、これが私の最後のお願ひで御座います」と聲を震はせて最後の刑に服しました。

この話は最も強く子供時代の教育を物語つて居ります、又このほかに實話として、次ぎの様な話があります。

不品行の爲本妻を追ひ出して、他の女を家に入れた父を持つ子供が隣の家へ自分を慕うて來た實の母親に逢ひたさに外へ出んとすると、繼母に見付けられ大變な壓制のもとに家へ引き入れられました。すると子供は只母に逢いたい一念から、裏口へ走りました。家の裏は茨の生垣でしげつてゐます。子供は何んとかして外へ出たいものと智慧をはしらせてゐます、と其瞬間傍に掛けてあつた鎌が眼に映りました。子供は無中になつて鎌で生垣を掻き破り目的を全うしました。其後其子供は廣く父の不品行が原因して種々不幸な生活に落ち入り、果ては無免許で醫者を開業し多數の人に迷惑をかけたり、恐ろしい殺人まで犯かしました。つまり殺人の原因は子供時代にしひたげられた生

活を送り度々突作に働く恐ろしい頭の作用がかくしたのであります。これは極めて簡單に記したのですが可成り複雑な物語りで、參考資料として相當興味を持つたものであります。今一つ實話にやまつた教育が原因した恐ろしい一例があります。

大變浪華節に興味を持った、一人の中學生が兩親から馬鹿なものに興味を持つといふので日々やかましく反對を受けました、在學中は仕方がなく兩親に服従してゐましたが學校を終へると愈強い決心を以て家をとび出し、或る浪華節師匠について學びやつと一本立が出来る様になり、一人の三味線弾きを伴れて各地田舎廻りの巡回興業をやりました、ところが餘り世間の事情を知らない爲に失敗に失敗を重ねて旅費もなく其の日の喰べ物にも困ると云ふ有様で、或る峠を空腹をかへて通つてゐますと、小さやかな一軒の茶店が見つかり

ました、見ると其茶店は老夫婦ぎりの淋しい店でありました。二人の旅藝人は空腹と疲労の餘り一夜の宿を乞ひました、そして二人が一室に枕を並べて寝んで居りますと夜のふけた頃二人の老夫婦は蓄金の勘定をはじめました。これを眺めた床の中の二人はフイツと悪い心が起きてよくないことをひそ／＼と話合ひました。そして眞夜中頃老夫婦の寝込みを窺つて首を絞め有金を全部盗み取つて逃げのびました。そして中學校を出た方が主犯者として死刑となりました。もし此の人が中學校在學中に両親が今少し本人に同情をもつて何んとか考へ只壓迫のみを加へないで本人の趣味の轉換をはかる様努力するか、又は浪華節趣味に對し適當の指導をすれば大罪を犯かす迄にはならなかつたと思ひます、寧ろ浪華節の大家となつて居つたかも知れません。

第一及び第三の例は主として家庭の教育が原因

し、第二の例は主として境遇が原因して居ります。現在の世の中には斯様な原因の下に不幸な生活を送る人、又は大罪を犯かして刑に惱んで居る人が多數にあること、思ひます。斯様なことを考へると子供時代の最も大切なことを痛切に感じ又人生將來の幸不幸を定める出發點の様に思はれます。自己意識によつて善惡を區別することも最も必要なことでありますが「知らず／＼動いて行く心、知らず／＼に行ふ習慣」と言ふことは實に恐ろしい力であることを感じます、理窟に依つて善惡を區別させる様な教育は時代錯誤です。どうしても子供の周圍、境遇と云ふことに重きを置いて善導につとめなければなりません。近頃相當教育ある人が大罪を犯かすのは珍らしくありませんが、何が原因してゐるのでせう「子供の時代に於ける境遇と受ける教育」と言ふことが大部分の原因ではないでせうか、これは子供の教育としてお互ひに深く研究しなければならぬ大きい問題と思ひます。(完)